

死と生の接点

～臓器提供現場におけるドナーと臨床心理士の物語～

臓器提供現場において、院内コーディネーターを務めている。心理士として、ドナーやドナー家族とどのように関わっているのか事例とともに紹介します。



方 法：Zoomを使用したオンライン研修会

※参加にはパソコン、スマートフォンなどの端末およびインターネット環境が必要です。

定 員：40名（先着順）

対 象：公認心理師、臨床心理士、
公認心理師・臨床心理士をめざす大学院生、
臨床心理学領域を教えている教員の方

参加費：無料

講師 平井 理心 先生

筑波大学附属病院 公認心理師、臨床心理士、
医療メディエーターA（Advanced）認定、茨城県院内臓器移植コーディネーター

<略歴>

筑波大学人間学類（心理学専攻）卒業・放送大学大学院臨床心理プログラム修了。
専業主婦等を経て、2007年から筑波大学附属病院に勤務し、現在は医療安全と臓器移植にかかわる。また、社会貢献活動として、がんピアサポーターの養成にも長年取り組んでいる。

<主な著書>

『心理臨床とセラピストの人生：関わり合いの中の事例研究』

（分担執筆、創元社、2015年）

『救急医学2019年5月号 医療現場におけるコンフリクト・マネジメント』

（分担執筆、ヘルス出版、2019年）

お問合せ&お申し込み

■お問合せ

常磐大学心理臨床センター
〒310-8585 水戸市見和1-430-1
TEL：029-232-2874

■お申し込み

常磐大学心理臨床センターウェブサイトの
「公開研修会受講申込フォーム」にて、
7月16日（金）までにお申し込みください。
お申し込みいただいた方には、
「招待メール」を差し上げます。
URL：<https://www.tokiwa.ac.jp/tccp/>

